

図書館だより

No. 9

●私にとっての上智大学図書館

学生総務担当副学長／経済学部教授

小林 順治

●レポート直前対策：使って便利なデータベース

●図書選定委員お薦めの本

経済学部経営学科図書選定委員
／経済学部助教

杉谷 陽子

●研究所の図書にアクセスしやすくなりました

●図書館掲示板

春期休暇中の長期貸出について
春期休暇中の開館時間等について

●豆知識

紀尾井町の名前の由来をご存知ですか？

私にとっての上智大学図書館

学生総務担当副学長／経済学部教授

小林 順治



上智大学の図書館には、私の思い出がいっぱい詰まっています。これまでの上智大学の卒業生のすべてが、私と同じようにたくさんの図書館の思い出をもっていることを思うと、上智大学の図書館は、目に見える多くの蔵書が収められているのと同時に、目には見えない膨大な、そしてかけがえのない貴重な思い出で満たされています。

私は、1969年、昭和44年に、上智大学経済学部経営学科に入学しました。経営学科の前身は、1913年の上智大学創立の時に設置された三つの学科のうちのひとつである商科です。その後、いく度かの学部学科の改編が行われ、私が入学したのは、その前年に、それまでの経済学部商学科が経営学科に名称が変わった、そのような時期でした。商学科から経営学科への名称変更は、単に学科の名前が変わったということではありません。このことは、上智大学が、創立以来行ってきた商学教育から経営学教育へと、教育内容を大きく転換したことを意味しています。商学は、中世のヨーロッパに起源をもつ、商業に必要な知識や技能の集合です。それに対し、経営学は、産業社会の発展に伴って大規模化してきた近代的企業の経営を対象として、20世紀の初頭に成立してきた科学です。本学でも、創立時には、国際的な商業活動を担う人材を養成するという、当時の日本社会の要請に応えるために、商科を設置したものと考えられます。しかし、戦後の日本が高度経済成長する中で、大規模化しつつある企業の経営や管理を専門に担うプロフェッション(専門的職業)としての経営者、管理者を養成するための経営学教育に対する社会からの要請が高まりました。そうした社会の変化に適應する形で、経営学科への学科改変とカリキュラム変更が行われたのです。

話は大きく変わりますが、私が卒業した長野県の高校にも、もちろん図書館はありました。教室がある校舎とは別棟になっていて、確か「図書館」とは呼ばれず、「図書室」と呼ばれていたと記憶しています。が、高校時代陸上競技の練習ばかりしていた私には、グラウンドの思い出ばかりがたくさんありますが、「図書室」を利用した記憶はありませんし、それにまつわる思い出もありません。そんな私が、上智大学に入学してきて、図書館に初めて入った時のことは、鮮明に覚えています。それは、現在の中央図書館ではなく、

今の2号館の位置にあった旧2号館に連結して建っていた旧1号館にありました。その閲覧室は3階にありましたが、最初の一步を踏み入れたとき、天井が高く、深閑としていて、変な言い方かもしれませんが、えも言われぬアカデミックな雰囲気がいっぱいありました。

大学入学までは経営学などというものに接する機会をもちませんでしたし、それに関する本など読んだこともありませんでした。今になって振り返ってみると、当時の図書館には、社会科学の中でも比較的后発の経営学関係の蔵書はあまり多くなかったと思いますが、先生が授業で推薦してくれた本を借り出しては読みました。思い出すのは、冬は柔らかいスチーム暖房でまあまあ快適に読書ができるのですが、夏は冷房がなく、しかも通風が悪く、借りた本の上に汗を垂らしながら読んでいました。読みながら、いろいろなことを考えました。

読む本の冊数が増えていくにつれて、本には二種類のものがあることに気づきました。ある種の本は、そこに書かれていることが刺激となって、次々と私の考えを発展させてくれます。もうひとつの種類は、そのようなことがなく、途中で立ち止まって考えることもなく、すらすらと読了するものです。私は、前者を良書と呼ぶようになりました。そのような本は、読んでから相当な時間が経過してから、私自身の考え方の基本的枠組みをつくるのに役立ったと思いましたし、大げさに言えば、私の人生観の形成にも役立っていると思います。

私にとって、図書館は、「考える」場です。

1983年12月3日に、現在の中央図書館が竣工しました。以来、上智大学の図書館は大きく変貌を遂げてきました。明るく、冷暖房が完備し、私の学生時代に比べて、格段に快適な環境が整備されました。そして、蔵書数も飛躍的に増加しましたが、何よりも変わったのは、コンピュータのネットワーク導入による、図書館のデジタル化です。それにより、図書館は私が学生だった頃には想像もできなかったほど便利になりました。現在は、私も大いにその恩恵に浴しています。

その便利さは、情報検索、情報収集の便利さです。しかし、図書館は、もうひとつの重要な機能を担っています。それは「考える」場としての機能です。そもそも私は、大学教育の根幹は、「考える」ことにあるという信念をもっています。その信念については紙幅の関係でここで述べることはできませんが、上智大学の現在の学生にとって、図書館が「考える」場であって欲しいと思います。そして図書館機能の高度化がすすめられ、今後も変貌を遂げていったとしても、将来の上智大学の学生にとってもやはり「考える」場であり続けることを期待しています。

レポート直前対策

使って便利なデータベース

レポートを提出することが多くなる時期になりました。

レポートを書くための資料を集めるために便利な基本的データベースを紹介します。

データベースを上手に活用して、効率的な資料集めをしましょう。

データベースにアクセスする方法

図書館ホームページ「情報検索」→「情報検索(New)」

<http://www.sophia.ac.jp/jpn/research/lib/search/new>

各種データベースにアクセスできる画面になります。

※10月からホームページの情報検索の画面が変わりました。

利用上の注意

- 同時アクセス数…同時に利用できる人数に制限があるデータベースには、＜同時アクセス人数＞を記載しています。つながらない場合は、時間を置いて再度アクセスしてみてください。
- ログアウト注意…利用後は必ずログアウトしてください。

※データベースの操作方法がわからない場合は、図書館1Fレファレンスカウンターにご相談ください。

用語を調べるデータベース

■JapanKnowledge+(ジャパナレッジ プラス) ＜同時アクセス 4＞

『日本国語大辞典(第2版)』全13巻(小学館)のオンライン版、『日本大百科全書』、『大辞泉』、『現代用語の基礎知識』、英和・和英辞典、時事用語辞典、書誌データ、各種記事、コラム類などを収蔵。



■ブリタニカ・オンライン・ジャパン

1768年に刊行されて以来、世界で高い評価と信頼を得ている Encyclopedia Britannica をもとに編集された『ブリタニカ国際大百科事典』のオンライン版です。英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語のオンライン百科事典も利用できます。



学術雑誌に掲載された論文を探すためのデータベース

世界中で、年間におびただしい数の論文が、学術雑誌に掲載されています。その中から、自分が必要としている論文を的確に探し出すことは大変難しいことです。その手助けをしてくれるデータベースが一般に雑誌記事索引といわれているデータベース類です。タイトル、著者名などから検索でき、その論文が掲載されている雑誌名、巻(号)、ページなどが分かります。また、論文そのものを、パソコンの画面上で見ることのできるデータベースもあります。

和雑誌

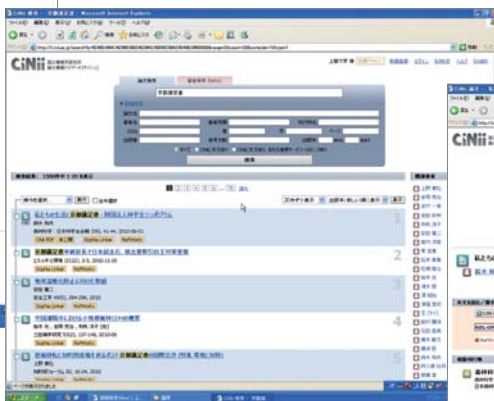
■ CiNii(サイニー) *学外からアクセス可(一部コンテンツを除く)

国立情報学研究所提供の論文提供データベース。

学協会刊行物・大学研究紀要・国立国会図書館の雑誌記事索引データベースなど、学術論文情報を検索の対象とする論文データベース・サービスです。論文本文(一部有料)や抄録、引用情報の表示も可能です。



検索画面



検索結果一覧画面



検索結果詳細表示画面

■ 雑誌記事索引(NDL-OPAC) *学外からアクセス可

国立国会図書館所蔵の国内刊行の学術雑誌約10,000誌の記事索引。利用者登録をすれば、文献複写の申込みができます。



検索画面



検索結果一覧画面

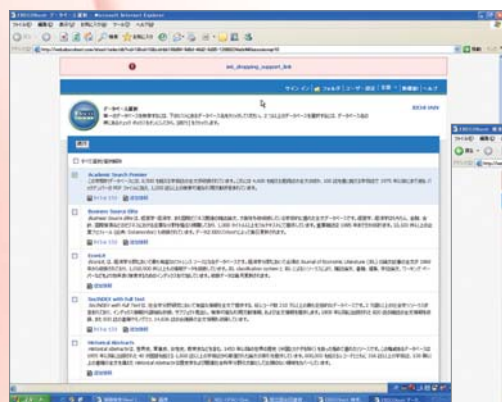


検索結果詳細表示画面

洋雑誌

EBSCOhost(エブスコホスト)

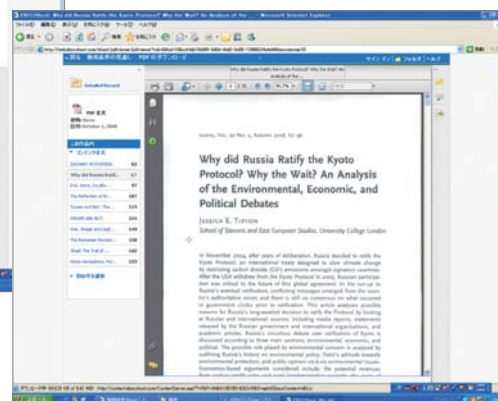
人文・社会科学・教育・心理学・法律・経済の各分野の全文、抄録等を検索できます。



データベース一覧



検索結果



本文

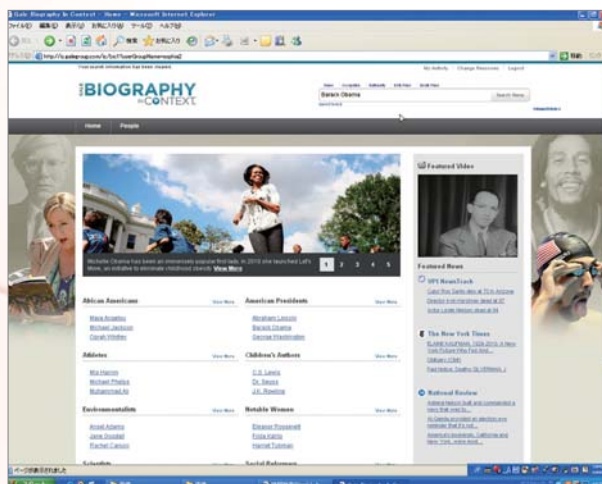
英文の文献では、Web of Science(自然科学、社会科学、人文科学の学術分野を対象とする文献データベースで、学術的に価値の高い文献を収録している。引用文献、被引用文献、関連文献が相互にリンクが張られていることで、先行研究から、その後の研究動向の推移に至るまでを網羅的に調べられる)、CSA(政治学と国際関係分野、言語学の全文、抄録、研究者情報の検索・閲覧ができる)などのデータベースも利用できます。

人物情報を知るためのデータベース

Gale Biography in Context

<同時アクセス 1>

全年代にわたる世界中のさまざまな分野の人物に関する情報が検索できます。



検索画面



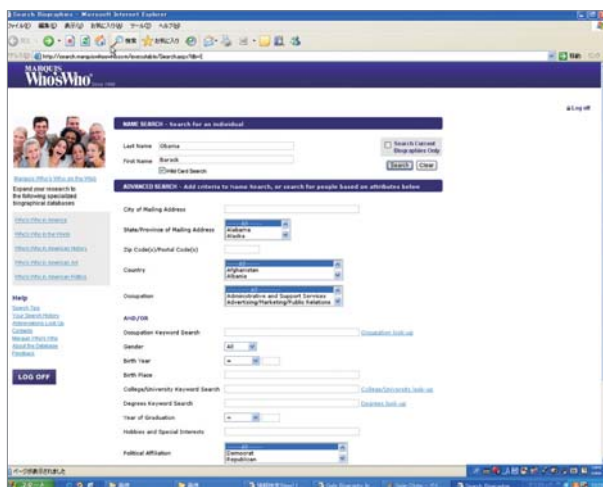
詳細画面



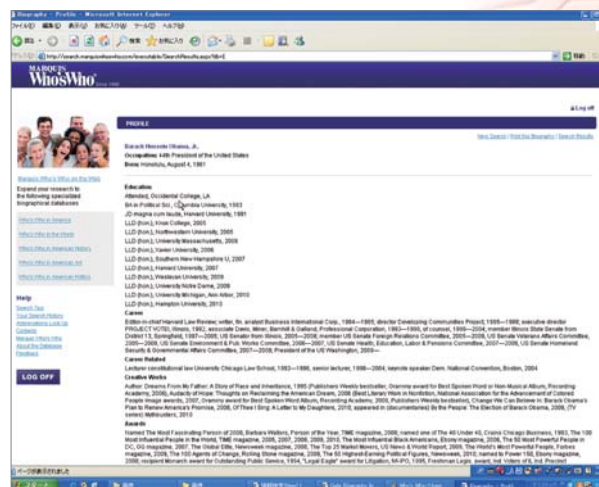
Marquis who's who on the web

<同時アクセス 1>

「Who's Who」と呼ばれる現代人名録を出版している米国Marquis社が提供する、アメリカを中心とする全世界の120万人の人物情報を収録した総合型人名録データベースです。



検索画面



詳細画面

その他にLiterature Resource Center(人物情報、文芸評論、書誌情報などを収録する世界の文学統合データベース。MLA International Bibliographyを含む)、Oxford Dictionary of National Biography Online(「オックスフォード英国人名辞典(DNB)全60巻」の全内容をオンライン版(57,000人以上収録))などのデータベースが利用できます。

新聞記事を探すためのデータベース

朝日新聞(聞蔵Ⅱビジュアル)・読売新聞(ヨミダス歴史館)・毎日新聞(毎日Newsパック)・日本経済新聞(日経テレコン21)の記事検索ができます。記事の本文を見ることも可能です。また、世界各国の新聞記事を検索できるデータベース(LexisNexis Academic)も利用できます。

※詳しくは、前回発行の図書館だより8「使ってみよう! 新聞データベース」を参照してください。

学外アクセス(VPN接続)のご案内

◆学外アクセスとは

自宅等の学外からインターネットを介して、データベース、電子ジャーナル、電子ブックを利用することができます。詳しくは、[図書館ホームページ](#) **学外からのアクセス(VPN接続)**を参照してください。

<http://www.sophia.ac.jp/jpn/research/lib/search/vpn>



『燃えよ剣』（司馬遼太郎著、新潮文庫）

≫ 図書館所蔵

学部(地下2階)

913.6 : Sh158m : 2007 : v.1～v.2

この作品との出逢いがなかったら、今の私はなかっただろうと思う。それは高校1年生の時だった。当時、読書には全く興味なし、歴史の勉強なんて大嫌いであつた私を、飲み会の最中にも一人で本を読んでいる「本の虫」に変えてしまった作品だ。

本書は、江戸末期に活躍した新撰組副長・土方歳三の生涯を描いた大河小説である。戦後、歴史上の敗者として忘れ去られつつあつた彼らの名を、魅力的な人物像で描き出し、世間に浸透させた。最近では「新撰組」は、映画、ドラマ、漫画、テレビゲームなど、数多くの分野で人気を誇る存在であるが、その礎はすべてこの作品によってつくられたと言って過言ではない。

土方歳三は激動の幕末期に、新撰組を組織し、率い、そして最後は自分の志に従って死んでいった。本書に限らず司馬遼太郎の本はいずれもそうであるが、時代を動かそうとする若者の情熱と勇気、その情熱を実行させる知性が、清々しく描かれている。私は彼の作品を読むたび、一人の大人として、社会の重要な一端を担って生きていきたいと、そういう自分であるために成長していきたいと逸る心が抑えられなくなる。

そのためには、学ばなければならないことが沢山ある。社会を動かすこと、組織を運営すること、人の心をつかむこと、志に生きること…。もし大学の勉強が退屈だと感じたら、ぜひ、本書を読んでみてほしい。日本史が嫌いかわきかは関係ない。あらゆる社会科学領域の学問が、なぜ必要なのかが見えてくるだろう。

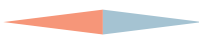




研究所の図書に アクセスしやすくなりました!!

夏休みに7階と6階の書庫レイアウトが変更になりました。

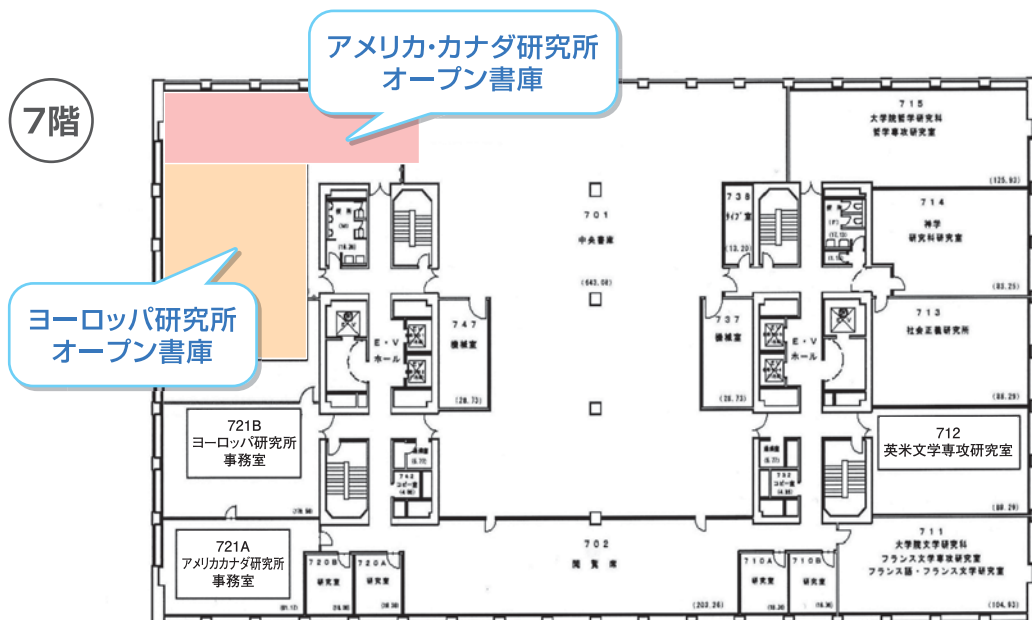
夏の工事で、4つの研究所の図書がオープンスペースに配架されるようになりました。
今までは研究所の空いている時間だけ閲覧・貸出ができた図書が、オープンスペースに配架されることで自由に手にとって閲覧したり、本を借りることができるようになりました。
とても便利になりましたので、是非研究所の特色のあるコレクションも利用してください。

北  南

6階



7階





図書館掲示板



春 期 休 暇 中 の 長 期 貸 出 に つ い て

春期休暇に伴い、2月4日(金)～3月31(木)は長期貸出を行います。

対象者：学部生、大学院生、聴講生、社専生、短大生、非常勤教員、館友会員

対 象 者	貸 出 日	返 却 期 限
学部生、聴講生、社専生、 短大生、館友会員	1月27日(木)～2月28日(月)	4月6日(水)
	3月1日(火)～3月31日(木)	4月14日(木)
大学院生 非常勤教員	1月27日(木)～2月28日(月)	4月6日(水)
	3月1日(火)～3月14日(月)	4月14日(木)



春 期 休 暇 中 の 開 館 時 間 等 に つ い て

春期休暇中【2月4日(金)～3月31日(木)】は、中央図書館の開館時間、各種サービス時間は授業期間中と異なります。

サービス時間等に変更になる場合がありますので、詳細は図書館ホームページでご確認ください。

<中央図書館>

開館時間 月～金…9:00～18:00

土 …9:00～17:00

休館日/日、祝日

*2月4日(金)～2月10日(木)は入学試験期間の為、閉館いたします。

サービス内容	月～金	土
1F 貸出	9:00～18:00	9:00～17:00
1F AVコーナー	9:00～17:00	なし
1F レファレンス	9:00～17:00	なし
2F 情報検索室・コンピュータルームL	9:00～18:00	9:00～17:00
5F 複写サービス室	9:00～17:00	9:00～13:00
B1F ラーニング・コモンズ※1	9:00～17:00	なし

※1 学習支援サービスはありません。

<法科大学院図書室>

開室・サービス時間 月～金… 9:00～20:00

土、日、祝日…10:00～18:00

*2月4日(金)～2月10日(木)は入学試験期間の為、閉館いたします。

<石神井分館>

開館日・貸出サービス時間

月～金…9:00～17:00

土・日…休館



豆知識

紀尾井町の名前の由来ご存知ですか？

江戸時代の初期からこの界限には紀伊和歌山藩徳川家上屋敷、尾張名古屋藩徳川家中屋敷、近江彦根藩伊井家中屋敷がありました。

紀尾井町の名前は、この三家よりそれぞれ一字ずつ取って名付けられたものです。上智大学は尾張徳川邸の跡地に建っていることになります。

清水谷前の道で大久保利通が暗殺されたことも歴史的一幕です。

事件後、現場近くに哀悼碑が設置され、のちに整備され清水谷公園となっています。



外櫻田永田町絵図 嘉永3年
人文社所蔵「嘉永・慶応 江戸切絵図」より



上智大学図書館だより No.9

発行所 上智大学図書館
〒102-8554
東京都千代田区紀尾井町 7-1
TEL : 03-3238-3510
FAX : 03-3238-3139
発行日 2011年1月5日
印刷 三鈴印刷株式会社
TEL : 03-5276-0811